

今年度の「栗山と福祉の集大成！」

2/20（木）の栗山と福祉は、「**栗山公園のバリアフリー化の提言**」集会！高専連携事業の関係で日経BPコンサルティング様、北海道介護福祉学校から5名様、栗山町役場から2名様、(株)ライセンスアカデミーから2名様、(株)リクルートから1名様と、なんと栗山町議会議員も3名様という顔ぶれをお客様として招き、実施！

10班に分かれての発表でそれぞれスライドを作成。各自の持ち味を生かしながら展開していった。

はじめの方の組は個人発表で見つけた**フリー素材のイラスト多め**で作成し、発表した。**後半に連れ、写真を交えた発表**となったが、**どちらが見やすい？わかりやすいかな？**みんなに考えてもらいたくて、順番を組みました。

栗山公園の改善点

歩道の段差や凸凹が多いため、整備する必要がある。

木々の枝が歩道に飛び出ているため、子どもや高齢者、障がい者に当たってしまうので危ない。

動物園や球場に入る際に段差があるため入りづらい。

どこの？

よりよい町づくりに必要だと感じたこと

問題点

- ・道がガタガタ
- ・スロープが急になっていたり階段しかないところがあった
- ・道が狭い

改善点

- ・道の舗装
- ・利用者の方がどうしたら過ごしやすいかその人の視点になって考える

どの程度？

★まとまっています！

よりよくするには、**太字にしたり、下線をいれたり、フォントの大きさを変えたり、色を変えたり、写真があるとうどう？**

よりよい街づくりに必要だと感じたこと

【今回栗山公園で車椅子実習をして感じたこと】

前のスライドにも書いたように、普段は気づかなくても車椅子だと大変なところが栗山公園にはたくさんあった。

【栗山公園の改善点】

- ・坂道を緩やかにする。
- ・砂利道をなくす。
- ・自動販売機の位置が高くて車椅子の人だと届かないから車椅子の人でも届く高さにする。

★箇条書きで見やすい！

より臨場感を伝えるためには何が必要かな？

★ポイント抑えています！

では、**自動販売機にはどんなものがあるでしょう？導入費用は？**など調べましょう！



3.栗山公園のバリアフリー化

①葉っぱが長すぎて、利用者に当たった

葉っぱを切って歩行者が歩きやすい道作り

②道がガタガタで危ない

道の補修工事を行いガタガタ道を改善

③傾斜が急なところが多い

スロープをつけて車椅子の人でも登りやすい工夫

④道幅が狭い

車椅子に乗っていても余裕があるくらいの道幅にする



よりよい町づくりに必要だと感じたこと

栗山公園で実習をしてみて、地面の凹凸や急な坂が多く車椅子を利用している人たちにとっては危険だったり、排水溝に車椅子のキャスターが挟まってしまう可能性などがあったので、地面を平らにしたり坂を緩やかにするなどの改善が必要だと思いました。

★フリー素材は使えますね！

こちら「より臨場感を出すには写真を入れる」とわかりやすい！



どの班も要点がしっかりとまとめられていました！
では考えてみましょう！

役場の方や、修繕する人たちにこれを提案するとき、あなたが担当者だった場合、これを見てどこを直すかわかりますか？「栗山町に頑張ってもらいたい」という発表もありましたね！

では、「**頑張ってもらおう**」ためにも**具体的にどここのどういうところがという点が大事**ではないでしょうか？写真が入ったスライドはこちらです！



- ← 栗山公園のトイレ入口
- スライド式で、出入りが楽
- × ドアが重たい

程度はわかった！

栗山公園の改善点

- ①地面に余計なものが多い
- ②坂が急な角度

栗山公園タイルの道→

- × 並びが悪いと危ないし、走ったり自転車などで通るのも危険！



でも、どこの？

【9月21日での学び】

- 栗山公園の改善点
- ・道の舗装
- ・駐車場と排水路のズレ
- ・道へ飛び出した草木の伐採



3. 栗山公園の利用しにくい点

- ・動物園の入口が段差になっていて車椅子だと入りにくい。
- ・道が整備されておらず、とてもでこぼこしていて車椅子への振動がすごい。
- ・排水溝を通るとき車椅子の車輪がみぞにハマってしまう



【0914介護実習①での学び】

車椅子を押すときは利用者さんに振動をできるだけ与えないようにする。杖には沢山の種類があって、その**利用者さんに合わせて杖を選ぶのが大切**コミュニケーションの際には利用者さんと目線を合わせて会話するように心がける。



★写真はやはり効果的！

例えば、「**マップのどこ**」という情報を写真に加えることも効果的ですよ！現状の「見える化」「具体性」が大事！

★背景色やマーカーなども見やすさ向上ポイント！

より効果的に見やすさを求めるとき、カラーの方が見栄えが違いますよね！また、Canvaのソフトで作成した班もありました！色々試してみましょ！

Canvaを使うと、下のようなテンプレートも多いです！また、動画なども入れるのが楽！素敵なフォントも使えます！



家庭科との連携
手話を学び

聴覚障害について考える



保育園児
との交流

https://youtu.be/JFJFcdRp_4?si=ETUtEexe7ASfUR3



発表が終わって、ホッとしたのも束の間。学年主任からの打ち合わせなしの質問攻撃にも、しっかりと答えてくれていました！**今年度の振り返りや、修繕に向けて高校生でもできることは？地域行事に積極的な参加とは？**など各班の突っ込みたいところなどを質問させていただきました！



今回の発表の中で、議員の皆様も真剣に耳を傾けて聞いていただいていたのが印象的でした。修繕が必要そうな箇所のスライドが出てくるときに写真を撮ってくださっている姿がありました。

また、高専連携事業でいつもお世話になっている北海道介護福祉学校の悪七校長先生から、コメントを頂きました。

「日頃から生活しているところから見方を変えることからの気づきを大切に」「もう少し深く調べたり、関連付けて考えたりすると理解が深まる」「改修業者の人が、福祉に関心を持っていたらもっと使いやすいものになるのでは」「誰でも使い

やすくするためには？を考えよう」といった課題をいただきました！ありがとうございました。

最後に栗山町議会議員の皆様から、「議員のオシゴト」についての説明をいただきました。住民の声を「一般質問」の場で、町長や国に提案するのが議員の仕事の一つですとおっしゃってくれました。

今回のスライドを見ていただき、**木の枝・段差・グレーチング・道の凹凸・マンホール・駐車場の段差・自販機の高さ・スロープ角・階段などについてが問題点**だと受け止めていただきました！

その後も生徒から日頃から困っている部分についての質問では、

生徒から**「栗山公園の街灯の数と点灯時間の検討について」「栗山温**

泉付近の歩道の除雪について」「駅の冷暖房と、電車の便数増加について」「帰りのバスの時間帯の変更について」「栗

山・長沼双方の町営バスの連動について」があげられた。予算の関係や、公共交通機関の関係となると全て通るもの

ではないし、バスの運転手の不足があげられていることもあるので、どうなるかはわかりません。しかし、「困っている」という想いは声にして動かないとそのままなのです！

今回に限らず、帰りの交通手段がない生徒に対して、柔軟に対応してくださっている栗山町。本当に感謝しております！

そして、**言ったからには我々も「まちの一員として、栗山町のために、何ができるのか！」を考えて動きましょう！**

みんなでまちをよくしていきましょう！

<https://youtu.be/Cc1tjZVfClQ?si=MMc0vIGdf2jSg2sk>

